

様式1 (学童・生徒の福祉活動助成事業)

令和 ** 年 * 月 * 日

令和 ** 年度 学童・生徒の福祉活動助成金交付申請書 (新規・変更)

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会
会 長 前 田 正 典 様

(申請者)

住 所 志摩市磯部町**

学 校 名 ***小学校

校 長 名 磯部 たかし 印

(自署により押印省略可能)

電話番号 0599-55-****

(担当教諭) 田中 太郎

学童・生徒の福祉活動助成金の交付を受けたいので、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

助成申請額 金 20,000 円

(添付書類)

- 1. 事業計画書 (様式2)
- 2. 収支予算書 (様式3)
- 3. その他 ()

*提出するものへを入れる。

30,000円を上限に事業に必要な金額をご記入ください。

様式2 (学童・生徒の福祉活動助成事業)

令和 ** 年度 事業計画書

学校名 ***小学校

1. 事業名	児童の福祉学習及び地域交流事業		
2. 実施主体	当てはまるものすべてに☑を入れる □児童・生徒会 ☑クラブ活動 ☑学年・学級 □委員会		
3. 実施日	(期間でもよい) 福祉学習：6月、8月、10月 地域交流：11月、2月		
4. 実施回数	年	回	児童・生徒数 ***人
5. 事業の目的	<p>【福祉学習】 福祉について外部講師を招き、体験学習を実施することで児童の福祉に対する理解を深める。</p> <p>【地域交流】 地域の高齢者と交流することで地域における児童と高齢者の良好な関係を構築する。</p>		
6. 事業の協力者	老人クラブ、志摩市社会福祉協議会		
7. 事業の内容	<p>【福祉学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験学習 ・ユニバーサルデザインについての学習 ・夏休みデイサービス体験 <p>【地域交流（ボランティア委員会）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいサロンを訪問し交流を行う。 ・老人クラブとの交流会 		
8. 期待される効果	<p>【福祉学習】 福祉について理解することで、地域における福祉の担い手の1人としての自覚が芽生える。</p> <p>【地域交流】 児童自身が生活する地域の高齢者と交流することで、地域における良好な関係が構築される。</p>		
9. 事業の啓発方法	学校だよりを地域に回覧する。		
10. 共同募金運動への協力内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会等の学校行事の際にボランティア委員会が募金活動を実施する。 ・学校新聞等で共同募金運動の協力を呼びかける。 		

様式3 (学童・生徒の福祉活動助成事業)

令和 ** 年度 収支予算書

学校名 ***小学校

1. 収入の部 [単位：円]

科目	予算額	摘要
助成金収入	20,000	学童・生徒の福祉活動助成金
繰越金収入		昨年度繰越金(自己資金分)
合計	20,000	

2. 支出の部 [単位：円]

科目	予算額	摘要	内助成金の充当額
印刷製本費	3,000	学校だより印刷費用	3,000
消耗品費	5,000	地域交流の際に使用する折り紙等	5,000
旅費交通費	2,000	老人クラブ、サロン訪問時のバス代	2,000
諸謝金	10,000	福祉学習講師謝礼	10,000
合計	20,000		20,000

※食事・お茶(飲食費)、レク景品(食費・消耗品費)の提供がある場合は、内助成金の充当額の10%以上の自己負担金を計上してください。

※志摩市社会福祉協議会の助成金は繰越できませんのでご注意ください。